でっちあげコラム集

のはずが…正直すまんこって

じどうはんばいき

目次

イラスト＆コラム　4～12

ミルクコミックさくらvol. 6掲載分（『少女絶頂体験　愛情版』に収録）　4

ミルクコミックさくらvol. 8掲載分　6

ミルクコミックさくらvol.11掲載分※　8

マンカイvol.1掲載分（『少女絶頂体験　愛情版』に収録）　10

マンカイvol.3掲載分（『少女絶頂体験　愛情版』に収録）　12

カバー下１ページマンガ　13～14

コミックアリスコレクションvol.2掲載分　13

コミックアリス倶楽部掲載分　14

コラム　駿に乾杯！　15～18

第一回（コミックメガキューブVolume 9掲載）　15

第二回（コミックメガキューブVolume10掲載）　16

第三回（コミックメガキューブVolume11掲載）　17

第四回（コミックメガキューブVolume12掲載）　18

※ここに入る予定だったのは2ページのフリートーク（「子供たちを街へ！」というお話」だったかな？）だったんですが、なんか違う原稿が返却されちゃったみたいです。8ページの原稿はどこに載ったのか私も覚えてないです。9ページのは単行本『少女絶頂体験』のフリートークですね。つかこんなミスがあったなんて…オフセの印刷間にあわなくてよかったかも…。

奥　付
誌名：でっちあげコラム集のはずが…正直すまんこって
発行：サークルじどうはんばいき
発行日：２００２年１２月３０日
印刷：~~高田~~ 近所のコンビニ ←察して下さい…うう。

連絡先：東京都調布市菊野台２－１７－９
　　みどりハイツ１０１　小木曽方Ｎ．Ｅ．Ｔ
ＵＲＬ：http://plaza27.mbn.or.jp/~nichieto/top.html

※１８歳未満の方は購読をご遠慮願います

フリートーク
◆ビバ！田舎!!という話◆

こんちわっス。A衰漫・我慢です。毎度思うのですが、なんであと一日、いや一時間早く原稿にとりかかれないんでしょうかね、トホホ。
えー皆さんはたまには田舎に帰郷しますか？。僕は全然です。実家帰るとつらい事多くて…。仮に、もし田舎でかわいい義妹が待ってくれるっていうなら、ビームサーベル装備してソッコーで帰るんですがねェ…。
その帰郷のスタートが、その義妹が元気よく「おかえり、義兄ちゃん♡」とかってケーキ焼いて迎えてくれるとゆーのもスタンダードでいい夢想ですが、逆にパジャマ姿の、ちょっと熱っぽい表情で出迎えてくれる…というのも、まあ色々と以後の展開が楽しみでワクワクしませんて？。なんたって夏休みが終って、でも、働きにでている両親をよそに、病気の義妹とず、と二人っきりですゼ!?。

い、いいの満子ちゃん
これ…ホントに？
だって…いれないと風邪治らないでしょ
でも…痛いよ？おしりだよ？
我慢できる…と思うの!!
お義兄ちゃんなら…
お父さまもおばあさまも乱暴だし…
は、早くしてよ恥かしいんだからモォ!!
あっ駄目!!
ゆ、ゆっくり…
ムリッ
ムリッ
いっ!
あく!
あっ!
二人っきりで何をするって、勿論治療です。
お医者さんごっこ→触診→(下の方に)注射→
滋養あるタンパク質を飲ませる…というフルセットも悪くはないのですが、折角田舎に帰ってる訳ですから、西洋医術を離れて民間療法を試してみるのも一興でしょう。
時々すごい療法がありますからね、おしりにネギを入れるとか、おしりに唐辛レを入れるとか、おしりに山芋を入れるとか…。
えっ？そんな療法聞いたことないですって？
大丈夫ですよ、田舎の純真な子供にはバレませんって…
ああ…実家帰るのやだなぁ…
(おわり)
後日
そういえば裕介くんはどうした？
満子の風邪がうつったんかねぇ
ねこんでますわ
台所にネギあったなワシがいれてやろう
お義兄ちゃんカワイソ…
オチてますね…ちゃんと

あっ
はっ発狂しそうだ…貴様のようなくされブタに…
申し訳ありません…
自らすすんで股の間をなめろ
ん
申し訳ありません…
あっ・あ… お前の腐ったような唾液の臭いで目まいがするぞ…
うん
申し訳ありません お嬢さま…
ん
…もう…いい ふやけそうだ…
はい

A・浪漫・我慢の、
〈またまたフリートークですよ〉
奥さん!!
キニタマーニ!! コスってる!?(かぁいさっ)
こんちわっス。A浪漫我慢です。
なんか、単行本もでたみたいで、世の中に恐縮しきりです。こんな本、マス媒体で売ってていいのか、とかもっと手を入れっやるべきだったなあ、とか…後悔のア・ラ・シ。
「今回の雑誌の表紙、アラシだったよ」とか町での会話を聞くと、ムーンサルトしている出っ歯が思い浮かんでしまいませんで。
えー、今日は漫画サボっちまいました。今回も、か。待っていた方がいらしたら、すいませんすり。すまんこ。一応準備はしていたのですが…全くプロ失格ですよね。反省してます。いえホント。フェライオ。
さあ、貴様のその吐き気をもよおす醜悪なそれを
挿入れろ
くいっ
ブッ!

けなげな少女が、唇を噛みながらも、男共の陵辱に耐える…というシチュエーションは、我慢の得意な想ですが、たまにはツリ目の高飛車な美少女が、オオ師に自ちまたがって、腰をふる…っていう妄想もいいでスよね。少女の、「こんな格下の男に喜んで抱かれているんだ」っていう倒錯した想いや、少女が虚勢をはっているが、実は力関係的には男の方が上で、とかのシチュエーションに、ポコチンびん勃ちス。尊大に振るまいつつも、実は挿入してほしくてたまらない美少女と、内心それを判かっていながら、なかなかチンコを取り出さない男のかけ合いとか、濡れ場シーンよりもそういう描写に力を入れてみたいですね。えっ、じゃあ描けよって?いやん、もっと少女ぽい声で偉大天に、「描いてやったら読んでやらないこともないぞ」って言ってくださいよう。……死。

A.浪漫・我慢でした〜。

脱ぎかけフォ〜エヴァ〜♡の話

お、スゴタマ〜!!。A漫画的慣あります。「脱ぎかけ」っつーお題を頂いたのですが、脱ぎかけで萌える三七七エーションといっても色々ありますよね。放課後の教室に忘れ物を取りに忍びこんだら、好きなあのコが、先生と情事する為に今まさにクツ下脱ぎかけ…とか、長い結業式の後に、急いでトイレにかけ込んだら、4ヨトイレの長蛇の列に見切りをつけたあの娘が、その目の前のトイレの個室で、用を足そうとパンツを脱ぎかけ(勿論この後、おもこと目撃)とか。いかにもネクション。ぽくいくのなら、ェー射精大会で先生のいいつけを守めなかったナヤが、教室で四つんばいでストッパーをつけられて、もじもじ腰ぶかけ…なーんてあんまりにも喰えないですか。つーかチョビ動ちます。なんかなら〜。

つーか、まあ色々書きたい事もあるのですが、ただ単に裸の少女が立っているよりも、全裸にクツ下とか、全裸に制服のリボンだけとか、全裸に乳首に安全ピンで名札が下がっているとか、敢えて「この子は何者なのか」が謎であり つつもわかるシチュエーションにとてもそそられますね。ぱっと見てこれ女なしフス!!。まあ最後の名札は脱ぎかけとは言いませんが…すいませんがり。

何じせよ、完全に裸であるよりも、少しの衣類を身にまとった方が優れている場合もあるということです。よかったな、皆。脱ぎかけのオレのチンコ(ゴ)よ。

つー訳で、また会ったらみなさんしましょう。プロール!!

仮性のA漫画家 我慢でした〜。

初・社・ホル・ホト

R 12/1.00

コスれェッ！コスれIIIIIIッ!!

（ファイヤーマンのOP風に）

どーもA.浪漫・我慢です。なんかよく画漫とか我漫とか漢字間違えられること多くて、まあどうでもいいことではあるのですが、そんなに分りにくいP.Nならいっそ変えちまおうか、とか思っています。うーかP.N.決める時は慎重にね、という教訓話なんですが。ま、まいかヨ。商業誌で仕事を頂くようになって、何が嬉しいって出来上がったアンソロジーの表紙に自分のP.Nが載っているのを見た時ですね。以前から憧れていた大先生方の下に、自分の名前があるのは感慨深いものがあります。御形屋はるか先生や、月角先生や、へっぽこくん先生や、江戸川春泥先生や、大山田満月先生や…ホワァ〜ン。ああ、幸せ…御形屋先生サイン下さい〜〜、ってまあ、そこに載っている自分の漫画のヘボっぷりを見ると、厳しい現実にひきもどされてしまいますが。漫画はもう、妥協、妥協の連続で、まあじゃあ妥協しないでやったらどう、といわれると どうもならないような服ではありますが。うーん このままでは食いっぱぐれちゃうよ。例の法律のこともあるし、ねえ。この単行本にも「このマンガに登場する人物は全て18歳以上です。」とか但し書きつくのかなあ。ロリ絵しか描けない我慢にとっては、真剣に死活問題です。…実は最近おっぱいの大きい女性を描く練習をしておりやす。多少口虚ですが。それにしても巨乳ってムズかしい!! エロいおっぱいの使い方、勉強しなくっちゃなあ。ボイボイ頑張りませ!!（多分）

さあ、コスって頂けたでしょうか？。コスってる？。ひょっとして強姦系?!、一度、電動フグってやつ体験してみたいです。あ、いや、取材、取材。領収書下さい。えー、最近電波強いじゃないですかー。よせって。何の話でしたっけ、そうそう、この本オカズになったでしょうか？。無理!? すいませんずり。なんか段々テンションがおかしくなってきましたが。まあ『少女絶頂体験』という名にそぐわない内容にがっかりされたかもしれんですね。なんか救いのない、暗い話ばっかりで気が滅いりましたか？。努力はしてるんですがね、我慢的にも。『ドレーと御主人』とか描いてみたり。でもアレ周囲の反応がどうにも芳しくなかったしなあ…。我慢自身これから努力して、引き出しは増やしていきたい、とは考えてはいますが、最近はナレ崩き直って、重い話しか描けなくてもしょうがないかなあ、とも思ったり。単行本の話の中で、なんか一つでも引っかかったものがあったら、懲りたりせずにまた我慢の漫画、読んでやって下さいね。

さて、ぬやかんやで我慢が一年間エロマンガ家として努力することが出来たのも、周りの方々の温かい尽力の賜物です♡。いつもアシスタントしてくれる、うるとらえんぴ氏、また今月頼む。（笑）今回のカラーイラスト製作で多大な助力をくれたまさし草水様、ホントありがとうございました。今度CG教えて♡『夢雅』でデビューを果たした野裏壊様、ゲストイラストの話、結局駄目になってしまいすいませんでした。いつも迷惑ばかりかけてしまう編集の河野様、すいません。大塚の旦那、いつもつたない漫画ほめてくれてありがとう！。それから父ちゃん母ちゃん、オレホントはエロマンガ家やっています。すいませんずり（シャレになんないなあ…）。福井のじいちゃん、ごめんなさい。具体的にどうごめんなさいなのか、とても書けません。ごめんなさい、マジで。また、いつも指導賜る先輩方、ありがとうございます。無理ばっか言って迷惑かけている後輩の皆さん、色々すしません、今度旨いものでも食いに行きましょう。そんと相棒のきょーじゅ、オレがこんなになっちまった原因の80%はお前にある。まあ、あんがと。

最後にこの本を買って下さった皆様、どうもありがとうございまんこ。愛してまっせ♡。そんでは、また!。また、が来るといいなあ…

A.浪漫・我慢でした

'99.11.19

http://plaza27.mbn.or.jp/~nichieto/top.html

ねェ、修兄ィ出来たァ？

キミねェ宿題ほっぽいてよくもまァ…

そんなに思々と日焼けする程遊びたおしといて…

こんちわ。A浪漫我慢ッス。最近スランプフローかずーっとスランプだったことに最近気づいたっつーか、まァ暑いと人間ロクな考えや仕事をしません。夏！少女!!と、お題を頂いたのですが、少女のスクール水着の股からプールの水がしたたり落ちるとか、薄着の袖から脇の下と乳首が見えてる、とか、少女のポニーテールの白いうなじにポッチリできた虫刺され跡にドキドキとか、夏休み誰もいない教会で、飼育係にかこつけて、あのうと二人っきり！とか、花火大会の夜、親とはぐれてウロウロしてると草むらの陰で美少女の野ションにでくわす！とか、まァいろいろなシチュエーションがそれぞれ萌えもいいのですが、夏の少女なら日焼けに浴衣ですね!!。

いーじゃん簡単でしょ？大学生にとってはさ♡

あっ大きい♡

手間の問題なんじゃないのッ!!

倫理的問題を言ってんだ僕ァ!!

菊子ちゃんが夏祭りに行って僕が一緒に行けないって、生殺しっつーわとりゃ思ぶ…ぬーだろうとかわかっ…

ドンッ

労働の対価を要求してるのかなァ？

そうだ

ねェねェ
ん?
じゃあさ
かわりに修兄ィにも皮めくらせてあげる♡
ほれっ♡

久々に会った親戚の子が、健康的に小麦色になってて、しかも浴衣なんかで現われる…心踊る妄想です。ちょっと焼きすぎちゃって、着なれない浴衣が肌にすれるのを気にしていた日にゃ、思わず両手いっぱいに軟膏をぬって、彼女の体中をさすってあげたい!。つーか一度でいいから少女の日焼けした後の皮をむくお手伝をしてあげたいです。腕や鼻や、おでこでもいいですが、やっぱ背中ッスヨ!!。おきてェ!!。お金をあげておかせてもらうと、親とかに告げ口されたりして面倒そうですし、僕今貧えなので、宿題をかわりにやってやる見返りとかで、おかせてくれないかなー。我慢でした。

楽しいよォ〜ハマるよォ〜
もう背中くらいしか残ってないんだけどさ…

どうッスか修兄ィ!?

お…おおお任せ下さいイイ…
やったァ♡
ぐわああ
た、魂の部分であらがえねェ…

あれ〜ッ方程式を使わずにやんの?
つーかこれ三角比で一発で答えはわかんのに…あ〜っ!!

ワイ
ワイ

…これで全部か？しっかしほとんどエロ本だよ…
よっ、
まァこれで後は本棚運ぶだけになったかな？
あの六畳間ともサヨナラだなァ…
今度の部屋は目の前学校だしなんってもいまだブルマーだぜ!!
楽しみ♡!
って…
!!
ちっ…
〈新生活♡でもその前に…の話〉
どーもA浪漫我慢です。実は引越しました。都心に出るとは一時間半もかかりまんこトホホ。フーカ引越に際していらない本を処分したのですが、いや全部が「エロ本」ですから、微妙に捨てづらい!!。怪しい夜中にこっそり…となるんですが、結構夜中でも犬の散歩するオバハンや塾帰りの子供など、人がウロウロしてるんですよねぇ。中には僕の捨てたエロ本をいたりして、
まあ者!!ふくらみます。白い目でしたが。
ちょっと遠まきに見ているう供があ、この娘ひょっとするとこーゆーのに興味あるのか!?とか妄想
えっ!?えっと…
ちちちちちち違います。
あせっ
あせっ
あわわ私なっ…ごごごご
待ってッ!!ちょ…ちょっとォ
ごめんなさああいっ!!
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
…
…
…やめよっかなァ引越すの…
あの娘この辺の子だったよなァ
A浪漫我慢でした～

お兄ちゃ…
いや先生!!

あの…
医者の見地から
いってさァ…

…おできってフツー
どのくらいで治る
もんかなァ…

へ!?

あのね、友達の
友達の話なんだ
ホント…

…治んないんだって…

…じゃあ

どこに
できたのよ?

紙とペン
貸して…

×トン

…あのね…

あの…
ここ…

ガシッ

パキ
パキ
パキ
パキ

さわるとね!!
ビクッて、ビクッて
するのォ!!

な…舐めると
治って言っちゃおうっ
かなァ…

お・し・ま・い♡

by A.浪漫.我慢

こんな妹が欲しい…

耳かきで…

絶頂ちゃう妹…♡

我慢&きょ〜じゅの

馬鹿に乾杯♡

我が夫となる者は更におぞましきものを見るだろう

◆A.浪漫・我慢(27)のナウシカ♡

ナウシカの劇場版が失敗作とするなら、それは彼女が人々の罪を背負う王族に断罪されるには、あまりに平凡であることが原因だろう。限界共同体の特権階級の人間が、作品の中で絶命ニまで無批判に愛されるべきか?。例えば風の谷では多くの方々が石化病によって、硬く醜く歪まれているはずだ。その子や孫をもつ城都住人は、いい水、いい空気によって瑞々しく美しいナウシカの肢体を、どう思って見ていたのか…。王族の彼女の身の世話(着がえや入浴、ミモとか)をひきうける彼らの皆は、嫉みや絶望であらぬ動きをしただろう。ナウシカは次期王の「義務」として、その辱しめを甘受する…。そして、ゆがんだ共同体のはけ口にされる美しすぎる我が身体に、彼女は倒錯した愛情を注ぐようになるはずだ。汚く、硬い指にけがされた自らの白い体に、夜中自うのしなやかな指をはめるナウシカ…。

彼女は思う、ユパが帰れば…。王弟の彼が帰還すれば、次期王というこの檻から自由になれるのでは、と…。だが汚い男「ユパ」は、理屈をつけて王という重責から逃げ出す。との事実はナウシカを打ちのめすだろう。ひょっとしたら、トルメキア進軍の際、父王とババアを殺したのは彼女かもしれない。そのことによって、ナウシカは外の世界へ脱出できたのだから…。

しかし、谷の外で彼女は気づくのだ。あの谷の人々の侮蔑と憧れの混ざった、ぬき気をもよおす彼らの献身こそが、自らの愛しい肉体を美しく保っていたことに…。

というようなナウシカが見たいです。ツッカケ、ばっ原作版のナウシカには勝てませんね…。「お前には、みだらな闇のにおいがする」…。

トイレでミモの世話をうけるナウシカ(14)→ その屈辱やいかに といった感じですね。

←かしこあの巨乳、ぷりぷりはいかがなものかと思います。きっと塩ジイ達も、石化して醜くなった母の乳房しか知らないでしょうから、まるやかな白球を前にどんなイタズラをしたのか…

◆きょ〜じゅ(28)のナウシカ♡

どうも、お初にお目にかかります。A.浪漫・我慢の相方きょ〜じゅと申します。つっかけで日本の誇る世界的ロリコ…もとい アニメ監督である宮崎駿のアニメについて、無謀にも語ってしまおうという割当たりなこのコラム、第一回は『風の谷のナウシカ』ってことで、行ってみますか。

このアニメが公開された一九八四年といいますと、私はまだオナニー覚えたての小学五年生でして、メーヴェを駆るナウシカを後ろから描いたカットを見ては、あれはイーパンなんだろ、うか?と悩んだりしていた多感な(チンポの)時期でした。なんか違う。っていうか、「ナウシカはイーパンなのか?」って考えたりしなかった?と我慢に聞いてみたらなんか随分と冷たい目で見られたんですけど。私は、当時のオスガキ供は皆同じ事考えていたと思っていたんです

が、違うんスカ?・っていうか、マスクなしでは五分で肺が腐ってしまう腐海に、粘膜(りまんこ)剥き出しで入るわけじゃないでスカ?・すいませんずり。

ところで、ナウシカとクシャナを比べたら、クシャナの方がイイ女という人は多いハズ(決めつけ)。ホラ、ロボコンボール『悟空とベジータを比べたら、どうしたってベジータの方に魅力を感じるようなものですね。アニメの中でじーさん達がクシャナに向かって「同じ姫様でも(ナウシカとクシャナは)大分違う」というシーンがありますが、ナウシカのあのスラロタイプかつナチュラルな完全無欠さ、って、うそくせえっつうか気持わりいっつう感じですわ(あくまでアニメ版限定ですが)。対してクシャナの方は、隻腕であることに象徴されるように、補い難い欠落感を持ったキャラですよね。おそらく彼女自身そのことを意識して、完璧な君主・将軍であろうとふるまっているフシがあります。彼女がそうなっていった経緯を妄想すると、けっこうチンポ勃ちマス。シュリシュリ(こする音)。

ところで、その絵、クシャナの手が逆(左が義手ですな。

←豊乳のナウシカに対して、子宮を第2次性徴期前に奪われたクシャナは、大負乳なんでしょう。そのコンプレックスから、ヨロイもマントも取ることができなかった…という妄想は萌えです。

●幼きクシャナ姫(13)→憧れの男性に求愛された彼女は、きっと口の端だけ曲げ、無言でその痛々しい裸体を見せてきたのだろう…。

きょ〜じゅと話し合った結果、クシャナはたぶん女性ホルモンが出る前に子宮を摘出されちゃったのだ、という結論に達しました。反対意見は聞きません。

次回

あの美しい背景と、作品のテーマの関連とは?。なぜこんなにも美しくまた切ないのか…

次回は「トトロ」で妄想です。

駿に乾杯♡

A 浪漫飛翔の女想

例えば、「トトロ」のその後の話を女想してみよう。5〜6年後、高度経済成長期に突入し、里山のあのトトロの森はベッドタウンになるべく伐採がすすんでいる。メイはとっくの昔に嫁、でも頑固で、自分の世界を大切にし、人見知りをする彼女は、学校でも友達は少ないだろう。いまだにトトロとの"秘り遊び"を続け、そのトトロの森がなくなっていくことに焦燥し、その気持ちを共有してもらいたいと、姉にベッタリかもしれない。一方、サツキは高校生。トトロのことよりも、不便な通学のことや次のテストのこと、明日の献立のこと、そして想いをよせる部活の先輩のことの方が大事になっているころだ。おそらくサツキには、もうトトロは見えなくなっている。そして見えなくなったことさえ気づいていないだろう。

だから、サツキにとって、いつまでもファンタジーの世界の共有をねだる妹は、うとましい存在になってくるはずだ。(あるいは、トトロ的世界を捨ててしまった自分を自覚させるので、メイを煙たく感じるのかもしれない)姉の冷たい反応に、メイはさっと寂しい色をうける。唯一、稲にトトロを見た姉がついこの前まで同じものを同じく感動できた姉が自分を裏切ったのだ。やがてメイは、ますます内向的に、トトロへの依存を深め、サツキはそれを無視しつづける。あの父親は無力であろう(森林重里だし)。遠くの母(そもそもいるかも?)にも頼れず、よりどころのトトロも、その森を日々削られて、メイは絶対的孤独にさいなまれていく…

そして、ある朝メイは知るのだ。自分の下着が血で赤く染まる。朝だ。トトロの森が、止めようもなく宅地になっていくように、自分も止めようもなく大人になってしまうことに。いつか自分の耳にも、トトロのオカリナが聞こえなくなる日がくることに。姉がそうであったように…

つまり、「トトロ」という作品は、やがてくる「大人の時」の前にひきこまれるエアポケットのような少女期というものを、その舞台とシンクロさせて描いたものなんですね。映像で、少女の時を、緑の森を、美しく描き抜く程、それを失う、避けえない「大人」の訪れを酷に暗示するわけで、その美しい残酷さ、切なさ故に、ボクは「トトロ」を観る時いつも涙をこらえることができないのです。

→サツキ(14)さ、と村で一番の美少女になるんでしょうなァ…

↑で、そんなサツキの無防備な表情にドキドキなカンタ(14)
丁度このころ、ピンク映画花ざかりのころでねぇ。かくれて見てみぬ、こいつ、絶対。

次回
「尼女がまたがるホウキが男根の象徴ならば、それにまたがり飛ぶ以外に、社会に少女がコミットできない世界とは一体…
次は「尼女の宅急便」です。たぶん…

←きょうじゃの女想

トトロの設定年代は昭和30年代はじめってことなんだが、これが絶妙なのは、この後昭和39年には東京オリンピックが開催されるという歴史を我々が知っているということに由来している。田舎とはいえ東京近郊にあるトトロの森にも、数年の内に開発の手が入ったことは間違いない。言うなれば、『トトロ』の風景は、既に永久に失われたものなのである。

つまり『トトロ』を見て、「こんな田舎に暮らしてみたい」って言うのは(実際こういう人けっこういるようだが)勘弁してほしい。ここに描かれている「田舎」は、都会っ子のサツキとメイの目から見たもので、すなわち越してきて日の浅い人たちとっては、まだ「夏休みに一週間だけ帰省した田舎」みたいなもの、要は異世界なのだ。楽しくないわけなかろう。周囲も一家を「お客様」扱いしてくれるんだから、居心地もいいだろうし。

むしろサツキが、田舎特有の閉鎖性とか、みんなに監視されているような息苦しさを感じとってしまい、無邪気なだけのメイにイライラさせられるとか、いまっクラスに溶け込めないでいて、みんなに「都会っ子がってる」とか言われてイジメられる、なんてシーンがあった方が、オレとしては萌えるんだが。ナニ、それじゃ全く別の映画だって?すまんこ。

あの子達見かけより
ずっと無理しているわ…

昭和46年というとベトナム反戦のころですね。サツキなんか、イケてるほぼ男によわそうなんで、その下の反戦青年なんかにパックリくわれてそうです。…って今サツキ60歳代!? うひ〜〜 ギリギリ戦後うまれなのかァ…

駿に乾杯♥

魔女の宅急便で妄想

我慢の妄想

「大きな街だ。たのぴ探してみると、思った通り、魔女の看板がでている店がある。現れたのは大きなリボンをした幼い少女だった。少々ためらったが、しかし、魔女は18歳で一人前ちすると聞く…。パン屋の二階にあるこの部屋に入ると、少女はすぐさま服を脱ぎはじめた。思わず固まると少女ははにかみながら言った。「私…他の魔女のように、掃除や整体を覚えちゃいなかったんです。」そして顔をひどく赤らめて、小さく呟やく。「でも…トブことは…できますから…」。

歳甲斐もなく、激しく私は少女を求めた。少女もその幼い肢体を開いて、私の責めに応え、そして何度も絶頂をむかえた。

時間が経ったので、この少女の身の上話を聞いた。母が、魔女だったので、何の不思議もなく自分も魔女になるだろうと思っていました。行為のあとの気怠さのせいだろうか、語る少女の横顔は寂しげにも見えた。「君の歳でも性交でとべるものなんだね」「私が話題をかえると、少女は無理にニコリと笑った。「魔女は…血でトブんです。」「便利なものだね」と言ってから私は少々後悔したが、しかし少女は表情をかえずに続けてくれた。「…でも一度だけ、スランプというかトべなくなった頃があって…」少女は窓の外を眺めた。「他の、同い歳の女の子達がきれいな服をきて楽しく自由に遊んでいるのを見て、その日から急にトべなくなっちゃって…」。薄暗い部屋に注ぐ外の光は眩しかった。「でも私、自分には出来ることがあるんだって、それは素晴らしいことなんだって思い直して…」また トべるようになったんです よ。少女は笑った。私も笑った顔をつくった。「落ちこんだりもしたけど…」少女は用意をした。「私はこの街が好きだから…」

魔女の宅急便

オッスオラキューじゃ。今回は『魔女の宅急便』でイク、ということで。私事ではあるが、今まで取り上げてきた三本の中で唯一、公開時にリアルタイムで見た映画だったりする。高校まで過ごした田舎町では映画館自体がそもそも二館しかなくて、おまけに金もなかったから、映画を見たいのは年に一回あるかないかという状態だった私にとっては、けっこう思い入れがある映画だったりするんだが、そんなの皆さんにはどうでもイイ事デスカ？すまんこ。

というか、「魔女の血」って一体なんなんだろう。当たり前に聞き流すべき合言葉なのかもしれないが、どうにも気になる。魔女の娘として生まれた女子は、母親の跡を継ぎ魔女になる運命にある、ってことなのであろうけど、そうなるとひとつ、どうしてもわからないことができてしまう。すなわち、キキは本当に魔女になりたかったのであろうか？ということである。キキの魔女としてのスキルは、正直いってかなりおそまつなものである。空を飛ぶ以外の技能は身につけていないし、そのたったひとつの技能ですら決して上手いとは言えない。つっこい映画を見る限りでは、空を飛ぶことは、魔女たちとって、誰にでもできる基本中の基本技能である。つまりはキキって、どうしようもない落ちこぼれ魔女、ってことになってしまう。

しかしここで重要なのは、キキはどうやら、空を飛ぶ以外のことを、身につけようとしなかった、ないし、身につけられなかった、のではなく、身につけようとしなかった、らしい、ということである。少しでも自分の意思で魔女になろうと思っていたのなら、何も学ぼうとしない、というのは明らかにおかしいではないか。

以上のことから、実はキキは、魔女になりたいとは思っていなかったし、「魔女の血」でもって自分を縛る生まれ故郷から抜け出して都会に出たい願っていたのではないか、と推測される。そのために、18歳で修行に出る魔女として空を飛ぶことだけは覚えたのだ。そう、外見からは想像もできない程たくましく逞しい少女、というのがキキの本当の姿だったのだ。

きょくじゃの妄想

奉仕するキキ(13)。しかし確かに何の技能も持たず、徒一貫で巣立った彼女は、もし「田舎」に産まれてきたのならただ都会で生きていくこともできなかっただろう。

駿に乾杯

千尋たんにハケハケ

きっと イタズラされとったろうねぇ…ホラ
日本の神サンって好色やから。
人でない快感に身を震わせる千尋(10)↓
もう、人の間には戻れないわなァ…

ヒクッ
ブルッ
ヒクッ
ブルッ

→他の男に奉仕する我が娘をみて、カオナシ(=父親)がいきり勃つのもかるわ…

フーが湯もってソープ嬢だよぉ。まんま。

頭はあるのに顔がないもの。なに何?。答えは、チンコ。(亀頭だけあるでしょ。)つー訳でカオナシって、チンコの事なのは自明として(大体ホラ、興奮するとメチャルクなっぜするじゃん)問題は誰のナニかと。…単刀直入に言えば、実は千尋パパじゃねぇのかもしれストーカーだ。変質者だと散々な言われようですが、あの一途な千尋への姿は、男親の娘に対するそれですよ!!。マジ。思い返してみて、カオナシって実にダメ親父っぽい。社畜なナデ肩。他人の声を借りないと自分の娘とも話ができない。日常は大人しいが旅先で人をはずすと晩中ドンチャン騒ぎ。もしも、娘に手をこうれるものといたら、お金だけ…。そう、生産の場から離れている娘にとって、お金とは父親が手品のようにひきだすもの、という悲しい事実…。そんなわけあるか!!。父親は叫ぶ(他人の声を借りて。だが)。オレが愛するオマエの為に汗水垂らしてかせいだんだぞ…。あまりえ、娘はその金もいらないと言う。「私の欲しいものはあなたには出せない」だとッ!?。親父ブチ切れですよ。そもそも父親にとって、娘は自分が養い育てた"自分の女"である!。なぜそれを赤の他人のもとにやらねばならないのか…今こそ!!。この女を本当に自分のものにするべきだ!!。喰え!!。喰えッ!!。自分から離れていくこの女と結合するのだァ!!。

そう、カオナシのあの最終は、必ず社会に娘(自分の女)を奪われてしまう、男の親の心の叫びだったんですよ。オソマツ。

オスカーオフキョージゅ。今回のお題は、ロ千と千尋の神隠し。つうことで。千尋の行動の理由が今ひとつ納得いかないとか、ストーリー的に成り立ちが足りねえんじゃねえか?とか、相変わらずCGの使い方が下手くそな上に、大事なシーンで使われたりしてるんで考えるとか、細かい不満はあることはあるんだが(と言いつつ、ハクが自分の本当の名前を思い出すシーンでは、不覚にも涙ぐんでしまったってのは、ここだけの秘密だぜ。)、千尋の存在がそれらのマイナス点を補って余りある映画でした私的には。つうかあの表情や仕草の描写の細かさは凶悪でしょう。エロッ!。

実は私がこの映画を見て最初に抱いた率直な印象で、「オッサン年喰ってついに抑えが効かなくなったか?」だったりする。実際千尋のモデルになったすずの子の親御さんが、映画を見て、千尋の表情や仕草が娘とあまりにそっくりなんでおどろいたってのは、(都で有名な話だしね。まさしくこの映画は宮崎駿版ロ不思議の国のアリスであり、21世紀におけるルイス・キャロルの後継者宣言だよな ロリコン的見地からすれば。え、このご時世にルイス・キャロルの後を継ぐことに何かのメリットがあるのかって?。そんなの知るかっての。

そういえば以前、宮崎駿はロリコンではなくショタコンである。ていう文章をどこかで読んだことがある。なんでも、宮崎アニメに出てくる女の子は確かにかわいいけど類型的な描かれ方しかしていないのに対して、男の子の方は実に生き生きと描写されているから、というような理由だったと記憶してるだけど、その文章書いた人はこの映画見てなんて言うんだろうとか思ったり思わなかったり。どっちだ。